

第 11 回 医療被ばく国民線量評価委員会 議事録

開催日時：2024 年 6 月 3 日（月）18:00～19:00 場所：オンライン

出席：小野，藤淵，赤羽，長谷川，松原，勝沼，山本，川浦，恵谷（敬称略）

欠席：横山，張，福永（敬称略）

オブザーバー：西岡，明神（敬称略）

【報告】

■医療被ばく国民線量評価委員会 報告書について

内容を集約し現在校正を行っている最中である。近日中に最終確認の連絡を行う。

■委員会メンバーの追加について

4 月より本委員会に勝沼委員，山本委員，福永委員が加わりご挨拶があった。

【議題】

■NDB 利用について

NDB データの利用について

NDB の利用手続きについての進捗報告があった。申請は完了済みであり、およそ 1 ヶ月後（7 月頃）に実際の利用をスタートできる見通しである。利用期間は 2 年。

■データ収集および活用に関する検討事項について

・CT 撮影について、長谷川委員より、DICOM のターゲットリージョン（撮影部位・範囲）を用いたデータ収集が可能であることについて報告があった。実際の撮影部位との不確実性等については今後の検討事項である。

・IVR については、山本委員よりアンギオグラフィやカテーテル検査のデータの利用は可能であることについて報告があり、今後、空気カーマ（面積線量積）から実効線量への変換方法について検討していくこととした。

・藤淵委員より、IVR を受ける患者の空気カーマ（面積線量積）から実効線量への被ばく線量推定方法に関する他施設共同研究の論文に関する情報提供があった。PCXMC というソフトウェアを用いて、面積線量から実効線量への換算方法が検討されており、今後の検討の参考とする。

・検診データの利用について、小野委員長より報告があった。結核検診データが利用可能であること、がん検診については日本対がん協会がデータを集約しており、解析に用いることができるかもしれないことについて情報共有いただいた。一方、職域検診については、近年実施件数が増加傾向にあるがデータが公開されることは期待できず、取得は難しい状況である。

次回開催予定 未定 次回書記：横山委員

以上（書記：恵谷）